



こんにちは

村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2021.11.12
No327

ようやく 案が示されました。立科町の公共交通中仙道線 平日8～16:00と土日対応…北陸信越運輸局の許可待ちで実施

【町の提案】 タクシーを利用した一括定額運賃制度…来年1～3月実証実験予定

- 1) 平日8～14時までに乗車か、土日祝祭日等 8時～16時までに乗車すること。
- 2) 立科町内の中仙道線バス停～佐久平、浅間病院、佐久医療センターを結ぶ路線
- 3) 利用者負担 1回1,000円(複数人で利用の場合は、人数で割り勘。例えば4人なら一人250円) 3か月間有効、6回まで6千円で購入。何回でも購入できる。
* 観光客は1週間2回まで(往復1回) 4千円 【回数券の販売】町役場・望月ハイヤー有限会社

千曲バスの自主運行による中仙道線が9月30日で廃止されて以来、立科町～佐久間の公共交通は平日の7時台の2便、夕方16時から3便のみとなっており、平日の8時から16時台までの日中や土日祝祭日の交通はありませんでした。

私は9月30日で千曲交通の中仙道線が廃止になるのわかっているのに、平日日中、土日祝祭日の代替え交通について、何の対策も示されないことに「行政の怠慢」と厳しく指摘し、一日も早く対策を講ずるよう求めてきました。

11月9日の全員協議会でようやく、町はその補充案を示しました。12月上旬、国土交通省北陸信越運輸局に申請予定。許可が下りれば、来年1～3月の間、実証実験として実施予定。

その間住民は、高いタクシー代を払って行き来するか、もしくはバスの走る時間まで、待っていないてはなりません。この制度が実施されれば、中仙道線のバス停まで1,000円で利用できます。往復2千円ですが、病院などで立科町の住民がいればいっしょに乗り合わせて、運賃も安く済みます。

皆さんのご意見をお聞かせください。

佐久市・立科町共同運行中仙道線

- 【改正後】200円均一 (改正前)
- 立科町役場前～佐久平駅の場合 830円
- 詳しくは次のとおりです。
- ・通常運賃 中学生以上200円・小学生以下100円 (身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、福祉医療費受給者証保有の妊婦の方は半額、小学生未満無料)
 - ・回数券・・・2,000円 (200円×11枚綴り)
 - ・定期券・・・
- ①通勤 1ヶ月8,560円 3ヶ月24,400円
- ②通学 中学生以上・・・
- 1ヶ月7,340円 3ヶ月20,920円
- 小学生以下・・・
- 1ヶ月3,670円 3ヶ月10,460円

【新ルート】 蓼科高校～佐久医療センター
朝の7時台は「立科町役場前」から、夕方「町役場前」まで。



「もののけ」

今年行われた公民館の文化祭。玄関入り口に飾られた作品「もののけ」。印象的でした。
紙を糊付けし彩色してあります。たてしなホームの住民の作品です。

今月のパチリ!

拝見した瞬間、「オオーツ」と声が漏れました。何というか原始のエネルギーを感じます。おおらかな生命のエネルギーです。顔だちもユーモラスですよ。きっと楽しんで作っているんだなと思わせます。私も作ってみたいと思いました。
たてしなホームのみなさんの作品は、型にとらわれないでいて、本質を突くものが多い気がします。仏像の絵や粘土の立像など、力強く、オーラを放っています。本質を見抜く目と心のなせる業と思います。

このビジョンは多岐にわたり目標計画が掲げられていますがそのうち、公共交通についての記述についてお知らせします。上田定住自立圏とは上田市を中心にした東御市、青木村、長和町、坂城町、立科町、嬭恋村の2市3町1村で構成。平成10年に長野県初の上田地域広域連合を組織し、圏域の福祉、医療体制の充実、教育、環境整備など、住みよい環境づくりのため連携し活動。今回の見直しは、新型コロナウイルス感染症や国連の目標SDGsとの紐づけなどを入れ込んでいます。

今回は「路線バス廃止、減便など、圏域の公共交通を取り巻く情勢は、極めて厳しい状況である。」として「圏域住民の移動の要であり市町村をまたぐ公共交通の維持、確保に向けた取り組みが急務である」としたうえで、上田市―青木村間の「青木線」において、「上限運賃を300円または500円として利用者の負担軽減を図り、利用者の増加につなげる運賃低減バス運行事業を推進する」とあることです。自治体間ですでに低料金定額事業が行われていました。

佐久市民は茂田井まで、日中もデマンドタクシーが200円で利用できます。更なる工夫や、障がい者等への配慮も必要です。

対面ではなく、パソコン、スマホなどを使ったオンラインの語る会の日にちが間違っていました。お詫びして訂正します。

3.11を取材して10年 私の伝えたいこといろいろ

11.14(日)2時～佐久創練センター視聴覚室

フォトジャーナリスト 山本宗補 参加無料
主催:サラバ原発佐久の会

収穫祭にお出かけ下さい。

11/20・21 菜ないろ畑



おいでな祭

11/23(祝・火) 農ん喜村収穫祭



11/28(日)第2回 良い映画を見る会

DVD上映会『人生 いろいろ』

①10:00 ②13:30 大人800円

徳島県上勝町での取り組みを映画化。山の葉モノを料亭に出荷するまでの悲喜こもごものドラマ。徳島県勝浦郡上勝町の株式会社いろいろによる、つまものを主力商品とするブランド「彩 いろいろ」。町の半数近くを占める高齢者や女性が活躍できる仕事として1986年にスタートしました。葉っぱの生産者に対し、つまの需要情報を提供するほか、葉っぱの営業支援を行っています。種類は300以上、1年を通して出荷しており、全国各地で使われており、上勝町の重要な産業となっています。

この町の活性化に何かヒントになればいいなと思ひ上映いたします。ぜひご参加ください。

【申し込み】事務局 村田 (56)2868



大募集

11.18(木)19:00～20:00

議会オンライン

ミーティング

- A 産業振興について
- B 移住定住について
- C 環境・防災について
- D 福祉・地域交通について

大まかなグループ分けですので、ご自由にご参加ください。

申し込みは町議会ホームページからお申し込みください。

コロナ禍でオンラインで実施します。お問い合わせは議会事務局まで



葉っぱを売って年商2億円―四国いち小さな町で起こった奇跡―の実話

人生、いろいろ